

都市再生整備計画 事後評価シート
箕面市船場・萱野中央地区

令和5年3月
大阪府箕面市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	大阪府	市町村名	箕面市	地区名	箕面市船場・萱野中央地区			面積	86.4ha			
交付期間	平成26年度～令和3年度	事後評価実施時期	令和5年3月	交付対象事業費	28,997.6百万円	国費率	50%					
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 ペDESTリアンデッキ、自転車駐車場、(仮称)市民文化ホール									
		提案事業										
	当初計画から削除した事業	事業名			削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
		基幹事業	高次都市施設((仮称)中央子育て支援センター)	民間商業施設内のキッズスペース等で子育て支援の活動を行うため。		影響あり						
		提案事業	中心拠点誘導施設((仮称)関西スポーツ・ヘルスケア総合センター)	別計画(箕面市船場東地区)へ移行したため。		影響なし						
	新たに追加した事業	基幹事業	道路(船場西宿線、特殊街路(高架部A)、特殊街路(高架部B)、特殊街路(開削トンネル))		社会資本整備総合交付金で実施予定の事業の一部を移行したため。		影響あり					
		基幹事業	(仮称)生涯学習センター		大阪大学が新駅周辺に移転することとなり、大阪大学及び地域住民の一体的な利用を図るために、生涯学習センター及び図書館を船場地区に移転するため。		影響あり					
		基幹事業	図書館				影響あり					
		提案事業										
	交付期間の変更	当初	平成26年度～平成30年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		影響なし						
変更		平成26年度～令和3年度										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
		単位	基準年度		目標年度	モニタリング	評価値					
	指標1	公共交通の利用者数(鉄道・バス)	人/日	68,495	H27	72,500	R3	49,373	×	あり なし ○	・コロナ禍の間は、近隣の北大阪急行線千里中央駅(ターミナル駅)でも利用者数が減少した厳しい状況であった。 ・その状況下でも、船場地区では、図書館等の開館、大阪大学の開校等により、新たな人の流れが生じており、今後の公共交通の利用者数増加に繋がる望ましい状況が見られた。	令和6年度
	指標2	箕面船場地区の地区内人口	人	36,459	H24	36,556	R3	37,131	○	あり なし	・(仮称)市民文化ホール・生涯学習センター・図書館等の整備・開館によるまちの魅力向上、令和5年度末の北大阪急行延伸線の開業に伴う交通利便性の向上への期待による結果である。 ・周辺では現在も大規模マンション等の建設や地価の上昇が続いていることから、今後も人口が増加していくことが見込まれる。	-
指標3	地域交流センターの稼働率	%	54.7	H25	65.0	R3	52.7	×	あり なし ○	・コロナ禍の影響により、(仮称)市民文化ホールの利用率は、近隣の類似施設と同様に低い結果であった。 ・施設を利用したイベント主催者等からは、音響や使い勝手について好評を頂いた。北大阪急行延伸線開業後は、駅近の使いやすさやホールとして、稼働率向上の見込みがある。	令和6年度	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
		単位	基準年度		目標年度	モニタリング	評価値					
	その他の数値指標1	船場エリアのまちづくりによる雰囲気やイメージの向上、賑わいの創出に関する市民満足度	-	-	-	-	81	/	/	誘導施設(図書館、生涯学習センター等)の整備等によるまちの魅力向上によるもの。	-	
	その他の数値指標2	船場エリアのまちづくりによる利用のしやすさや周辺の歩きやすさの向上に関する市民満足度	-	-	-	-	63	/	/	鉄道開業がR5年度末となったため、目標年度に効果が発現しなかったため。	-	
その他の数値指標3	図書館における図書の個人貸出冊数	冊/日	675	H29	-	883	/	/	新たに整備した施設の使いやすさや市・大学図書館各々が所蔵する図書の充実によるもの。	-		
4)定性的な効果発現状況												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	北急延伸と周辺まちづくりに関する説明会		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				○ ○ ○				
	住民参加プロセス	(仮称)市民文化ホール整備に係る市民意見の反映		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				○ ○ ○				
	持続的なまちづくり体制の構築	大阪大学の知的資源を活かした、新しい学びの可能性を生み出す図書館や、生涯学習の場を提供する生涯学習センターの整備		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				○ ○ ○				

様式2-2 地区の概要

箕面市船場・萱野中央地区(大阪府箕面市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
新たな都市機能の導入による、交通利便性を活かした市の玄関口として交流を生むまちづくり	公共交通の利用者数(鉄道・バス)	単位:人/日	68,495 H27	72,500 R3	49,373 R3
目標1:(仮称)関西スポーツ科学・ヘルスケア総合センター及び図書館の整備によるまちの魅力向上	箕面船場地区の地区内人口	単位:人	36,459 H24	36,556 R3	37,131 R3
目標2:地域交流機能の整備によるにぎわい創出	地域交流センターの稼働率	単位:%	54.7 H25	65.0 R3	52.7 R3
目標3:公共交通の環境整備による交通利便性の向上					

○関連事業

- ・都市計画道路 芝如意谷線
- ・都市計画道路 萱野東西線
- ・駅前広場
- ・自転車駐車場
- ・エレベーター
- ・船場東7号線歩道(屋根)
- ・(仮称)関西スポーツ科学・ヘルスケア総合センター(民間)
- ・敷地整序型区画整理事業(民間)
- ・鉄道整備

○関連事業

- ・新市立病院
- ・市道船場東3号線・市道船場東7号線
- ・市道船場西宿線
- ・(都)新船場北公園
- ・地域生活基盤施設
- ・広場
- ・軌道の整備

■基幹事業(道路)

- ・特殊街路(高架部A)
- ・特殊街路(高架部B)
- ・特殊街路(開削トンネル)

■基幹事業(地域生活基盤施設)

- ・人工地盤

■基幹事業(道路)

- ・船場西宿線(自由通路)

■基幹事業(道路)

- ・特殊街路(高架部A)
- ・特殊街路(高架部B)
- ・特殊街路(開削トンネル)

■基幹事業(道路)

- ・船場西宿線(自由通路)

■基幹事業(誘導施設)

- ・図書館

■基幹事業(高次都市施設)

- ・(仮称)市民文化ホール・生涯学習センター

■基幹事業(高次都市施設)

- ・(仮称)市民文化ホール

大阪大学箕面キャンパス

学生寮

■基幹事業(誘導施設)

- ・図書館
- ・生涯学習センター

■基幹事業(高次都市施設)

- ・(仮称)市民文化ホール

まちの課題の変化

・船場地区においては、船場団地のまちびらきから40年を経過し、繊維業界の構造変化や不況による組合員企業の事業規模縮小、経営破綻の増加などによる土地利用の転換などが進み、当初繊維卸業に係る物流・倉庫・業務機能に特化していた土地利用も、近年では一部の用地にて、マンションやパチンコ店等が建設されている。船場団地が持つ業務集積地としてのポテンシャルを顕在化し、北大阪最大のビジネス拠点として発展していくための取り組みとして、新産業を創造する新たな都市機能(健康、環境、教育など)の導入が求められている。

・新駅が整備される予定の周辺においては、これまでは主に、車による来街者が多いまちであったことから、公共交通への転換を促進するため、徒歩、自転車等での新駅などへ安全で快適にアクセスできる交通路を確保することが求められる。

・公共交通の利便性の向上と併せて、「緑豊かな住宅都市」としての本市の都市特性の価値をさらに高めるため、周辺地域との調和に配慮した緑豊かな魅力ある都市景観の保全・充実が求められる。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

・船場団地が持つ業務集積地としてのポテンシャルを顕在化し、北大阪最大のビジネス拠点として発展していくための取り組みとして、新産業を創造する新たな都市機能(健康、環境、教育など)の導入が求められており、特に高齢人口の増加が見込まれていることから、健康寿命延伸の拠点となる中核施設として、健康増進施設や大規模病院などの医療施設の整備を進める。

・本地域は、地理的に本市の中心に位置し、国道171号と国道423号の交差する交通の要衝である。さらに、北大阪急行線の延伸と併せて、本地区で行う市立病院や診療所などの医療関連機能の整備や都市計画公園の整備に加え、本地区周辺では、大阪大学の箕面キャンパスや市民ホールの移転新築など新たな都市機能の立地を実施しており、今後の箕面市の都市核となるエリアである。本地区は、箕面市景観計画においても、「箕面の核となる地区」に設定されており、本市の住宅都市としての魅力を発信する先鋭となるべく、それにふさわしい景観に配慮した快適な都市空間を創出するための施設整備を実施する。